

えつくす 特別号 2012

AUTUMN

三重大学広報誌
[三重大X]



学長・理事 三重大学の課題と展望を語る

ビジョン 学長・理事 三重大学の課題と展望を語る

ビジョン 学長・理事 三重大学の課題と展望を語る

統括・研究

三重大学で研究と社会連携の二つを両立させ推進するのが役目です。外部資金導入、社会連携活動の促進などの成果は上がっていますが、様々な要因で学生や教員が純粋に研究に集中できる時間が少なくなってきました。そのためか、年間の発表論文数や被引用件数が減少傾向にあり、研究レベルの維持、向上も懸念されます。しかしどんな事情があろうと、大学に籍を置く限り、創造的研究を続けることが私たちの義務であり喜びです。構成員が少しでも効率的に研究できる環境を整え、優れた研究が三重大学から続々と生まれる、それが研究担当の私の目標です。大学改革が将来どのように行われようと、世界初演の研究成果が生み出されていくと信じています。



理事・副学長 武田 保雄 Takeda, Yasuo

世界初演

総務・財務

近年の採用者は活気に溢れ知識もあります。あとは継続したやる気とチームワーク、更には企画力が必要です。若手が先輩に与える刺激もまた組織にとって重要です。広報誌「えっくす」に限らず各種資料もベテランと若手、教員と事務職員が一緒に取組んでいるものも多いです。自主財源で建てた環境・情報科学館は、隣接の図書館との一体性と必要性を国に説得した結果、永年の懸案だった図書館の改修へと結びつきました。加えてイノベーション研究開発拠点のアイデアも認められました。この周辺は学生や地域の人々が集まる通りになっていくでしょう。まず自らやってみて、そこから主張していくこともステークホルダーに理解される早道かもしれません。三重大学は進化し続けます。



理事・事務局長 坂口 力 Sakaguchi, Chikara

意識改革



学長 内田 淳正 Uchida, Atsumasa

縮地補天

大学改革が求められています。三重大学がどういう大学を目指すか明確なミッションを示さなければなりません。それは地域性を最重点として国際性豊かでイノベーションを推進できる人財の養成に努めること。そのためにはまずは教育

改革、特に教養教育の充実が必要です。それに基づいた専門教育、大学院教育に取り組みます。三重大学の良き伝統である教職員学生の「一体感」と「志」を大切に。そのことが教職員の意識改革につながり、やがて組織ガバナンスの確立につながっていきます。「縮地補天」は政治上、行政機構などを大きく改革することのたとえであり、また、非凡なことをするたとえです。地を縮め、天を補う意から。改革には痛みを伴います。みんなで見分ち合ひましょう。

進取果敢

評価・情報

現在、附属図書館では改修工事を行っています。25年の4月からリニューアルオープンします。改修後、1階はグループ学習ができるラーニング・commons*ができます。2階はコンピュータ・セミナー室や個人学習ができる個室を設けた静音ゾーンで、隣接する環境・情



理事・副学長 滝 和郎 Taki, Waroh

報科学館と連絡します。3階は完全に静粛な学習空間を提供する無音ゾーンです。また総合情報処理センターでは、研究・学習がよりスピーディーに効率よく行えるように、学内ネットの充実とmoodle*をはじめとした学習支援をより完成したものにしていきます。学生や教員がより良い環境で研究・学習に励めるよう支援を行っていきます。

*moodle (ムードル) インターネット上の自主学習や、授業用のwebページを作るためのソフト



理事・副学長 朴 恵淑 Park, Hye-sook

環境・国際

環境では日本初の全学部一括のISO14001認証取得による環境マネジメントシステム(EMS)の構築、三重大ブランドの持続発展教育(ESD)の推進、3R活動やMIEUポイント*による循環型キャンパスの形成、スマートキャンパス実証事業による低炭素キャンパスの構想により、エコ大学ランキング1位となりました。国際では、日中韓及び日タイのアジア諸国との「翠のダブル・トライアングルネットワーク」を構築し、ダブル・ディグリー**の推進、国際インターンシップの実施、ユネスコスクール活動を積極的に行いました。環境・情報科学館を大学と地域、世界とのプラットフォームとし、「グローバル環境人財育成」に励み、天下第一の環境先進大学となります。

*MIEUポイント 学内の環境・省エネ活動に応じて環境ポイントを付与する制度
**ダブルディグリー(複学位制度) 三重大学と海外の大学(協定校)の2つの学位を修得できる制度

天下第一

教育

学問は、深く細かく知ること(専門化)と、全体を知る(調和化・人格化)という二つの指向性を宿します。「教養」が主として後者にかかわるものとすれば、大学において「教養」が繰り返し問題とされるのは、とどまることを知らない専門化による歪みを是正しようとする、学問自体の内在的な要求によるものと考えられます。

現在、三重大学では教養教育のあり方について議論を進めています。これは具体的には教養教育科目をどのように開講するのかという授業運営上の問題であるとともに、学問をどのように考えるのかという意識を反映するものでもあります。このことを踏まえつつ、三重大学の教養教育を充実させていきたいと考えています。

教養教育

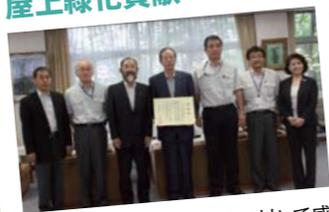
From Mie to the World

気になるNEWS



7月4日

株式会社赤塚植物園による 環境・情報科学館の 屋上緑化貢献への感謝状授与



屋上緑化一式の整備に対して感謝状が手渡され、この日より憩いの場として一般公開されています。ヒートアイランドの防止など様々な効果が期待されます。



屋上のヒメワダレンソウ

7月6日

セタECOナイト



環境・情報科学館前で「つながろう、人と光の環」をテーマに、環境ISO学生委員会主催で標記イベントが行われました。

7月10日

イオン津店に三重大学の 掲示板を設置



津市桜橋にあるイオン津店内1階フードコート横に、三重大学の掲示板が設置されました。ポスター等ぜひご覧ください。

7月16日～20日

「MUS-net」による 「防災week」活動



MUS-netは、被災地への支援や防災活動の啓蒙を目的として活動しているサークルです。今回は救命救急講習などを学ぶ機会を設けました。

7月21日

四日市公害訴訟 判決40周年記念 国際環境シンポジウム



環境・情報科学館1階ホールにて、標記シンポジウムが開催され、約200名が参加しました。環境維持の大切さを考える良い機会となりました。

7月29日

生物資源学研究所 演習林公開講座 「源流の森を歩こう」



小学生ら44名の参加者は、藤堂スギ林、モミツガ天然生林や溪流沿いを散策したり、昨年の台風12号の崩壊地を見学するなど、源流の森林の役割を学びました。

8月2日・3日

SPP (サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト) 「勢水丸乗船による伊勢湾の海洋調査の方法」



高田高校の生徒、教諭、総勢16名が勢水丸に乗船し、本学教員の指導のもと伊勢湾の海洋観測を主体に海洋環境を客観的に理解する手法を学びました。

8月6日

「花みずぎの女王」が 学長を表敬訪問



花みずぎの女王とは、伊勢市ゆかりの尾崎号堂がワシントンに桜の苗木を3,000本送り、その返礼にアメリカ政府から花みずぎが送られたことから命名されたものです。第5代女王に選出された医学部医学科6年生の内田愛莉砂さんは、桜の寄贈から100年目となる全米さくらまつりに参加した様子を報告しました。

8月8日～9日

オープンキャンパス 2012



体験授業(模擬裁判)の様子
8月8日(人文学部・医学部・生物資源学部)、9日(教育学部・工学部)に開催され、県内外から昨年度を上回る約4,900名が参加しました。

8月22日

附属病院12階で JAZZ BARを開催



レストラン四喜折々で、本学の学生たちにより開催されました。ノンアルコールカクテルを片手に、参加者は演奏に聴き入りました。

8月24日

ミャンマーの看護師が 学長を表敬訪問



ミャンマーの看護師2名が、母国の医療発展に役立てることを目的とした研修のため来日し、内田学長を表敬訪問しました。

8月25日

第15回 リフレッシュ理科教室



工学部主催による標記催しが開催され、小中学生、保護者、総勢224名が参加しました。

8月25日

三重大学・三重県連携 「新博物館シンポジウム」



志摩市磯部生涯学習センターにて、地域づくりにおける大学や博物館の役割、地域と大学・博物館の連携のあり方をテーマに標記シンポジウムが開催されました。

9月3日

平成24年度第1回 三重大学地震防災訓練



東海・東南海・南海の3連動地震を想定した訓練が学生・教職員、地域住民の方々など、約650名の参加のもと実施されました。

9月3日

医学部看護学科初の ホワイトセレモニー (白衣授与式)



看護学科3年生を対象に標記式典を挙行了しました。祝辞の後、学生たちは「誓いの言葉」を唱和し、患者の思いに寄りそう看護師を目指すことを誓いました。

9月7日

Googleマップの ストリートビューで キャンパス公開



三重大学キャンパス内をその場にいるかのように360度のパノラマ写真でご覧いただけます。

9月12日

スキルズラボで縫合実習



スキルズラボとは、医療のシミュレーション教育や技術訓練などを行う施設です。この日は、医師の指導のもと食用豚の足を使用した縫合の訓練が行われました。

9月16日

第32回町屋海岸清掃 第3回「TOYOTA AQUA SOCIAL FES!! 2012」



今回の清掃には、株式会社トヨタマーケティングジャパンの新井範彦取締役副社長ら関係者、鳥取大学などの学生を含め、約240名の方々が参加しました。

9月16日

解体中の旧東病棟を 使った救助訓練



大規模災害を想定した訓練が、三重・愛知の両県警と津市消防本部が合同して、崩れたがれきの中や高所での救出など、より災害現場に近い状況下で実施されました。

9月20日

みえアカデミックセミナー2012移動講座 「健康な体をつくる手軽な体操の提案」



大台町にて、教育学部後藤洋子教授が標記講座を行いました。タオルを用いた本学オリジナルの「あっぱれ体操」に86名が笑顔で取り組みました。

公開講座・シンポジウムなど

人文学部「公開ゼミ」

◎会場◎ 三重大人文学部 ◎受講料・定員◎ 無料・各20名
◎受講対象者◎ 市民一般 ◎申込方法◎ 電話、FAX、メール
◎申込期間◎ 各講座日の5日前まで(定員まで先着順に受け付けます。)

◎はじめの言語学—ことばの不思議を考える—
◎講師◎ 吉田悦子(人文学部・教授)、澤田 治(人文学部・准教授)、小畑美貴(人文学部・准教授)

◎日時◎ 平成24年10月16日(火)、23日(火)、30日(火) 10:30~12:00

◎高リスク社会における中小企業の未来

◎講師◎ 青木雅生(人文学部・准教授)、後藤 基(人文学部・教授)
◎日時◎ 平成24年10月17日(水)、24日(水)、31日(水) 19:00~20:30

◎大規模災害の際の地方自治体の役割

◎講師◎ 前田定孝(人文学部・准教授)
◎日時◎ 平成24年11月5日(月)、26日(月)、12月3日(月) 18:30~20:00

◎贈与と交換について

◎講師◎ 立川陽仁(人文学部・准教授)、石井眞夫(人文学部・教授)、金子正徳(人文学部・非常勤講師)

◎日時◎ 平成24年11月6日(火)、13日(火)、20日(火) 19:00~20:30

◎志摩の海女の歴史と文化

◎講師◎ 塚本 明(人文学部・教授)
◎日時◎ 平成24年11月14日(水)、21日(水)、28日(水) 8:50~10:20

◎文学から映画へ

◎講師◎ 大河内朋子(人文学部・教授)
◎日時◎ 平成24年11月16日(金)、30日(金)、12月14日(金) 18:00~19:30

◎英文法を科学する!?

◎講師◎ 杉崎敏司(人文学部・教授)
◎日時◎ 平成24年12月3日(月)、10日(月)、17日(月) 10:30~12:00

伊賀連携フィールド開設記念イベント

■伊賀再発見! 伊賀忍者古文書講座

◎日時◎ 平成24年10月16日(火)、11月20日(火)、12月18日(火)、平成25年1月15日(火)、2月19日(火)、3月19日(火) 14:30~16:00
◎会場◎ ハイピア伊賀3階 上野商工会議所会議室 ◎講師◎ 山田雄司(人文学部・教授)
◎受講料・定員◎ 3,000円(全6回分)[資料代・茶菓代]・20名 ◎受講対象者◎ 市民一般
◎申込み・問い合わせ先◎ 上野商工会議所・山崎/☎0595-21-0527

■伊賀再発見! 「忍者」に見る日本の文化・世界の文化 市民講座「忍者・忍術学講座:忍者とは何か」

◎会場◎ ハイピア伊賀3階 上野商工会議所 コミュニティ情報プラザホール
◎講師◎ 山田雄司(人文学部・教授) ◎受講料◎ 無料 ◎受講対象者◎ 市民一般
◎申込み・問い合わせ先◎ 三重大人文学部チーム総務担当・森本/☎059-231-9194

第1回 テーマ「忍者の精神」

◎講師◎ 山田雄司(人文学部・教授) ◎日時◎ 平成24年10月20日(土) 10:30~12:00

第2回 テーマ「戦国時代における伊賀衆の活躍」

◎講師◎ 笠井賢治(伊賀市総務課市史編さん係) ◎日時◎ 平成24年11月24日(土) 10:30~12:00

第3回 テーマ「近世小説の中の忍者」

◎講師◎ 吉丸雄哉(人文学部・准教授) ◎日時◎ 平成24年12月15日(土) 10:30~12:00

第4回 テーマ「近代文学にみられる忍者像—一村山知義を中心に」

◎講師◎ 尾西康充(人文学部・教授) ◎日時◎ 平成25年1月12日(土) 10:30~12:00

第5回 テーマ「Ninjaになった日本の『忍者』」

◎講師◎ 井上稔浩(人文学部・教授) ◎日時◎ 平成25年2月2日(土) 10:30~12:00

第6回 テーマ「外国人の目から見た忍者」

◎講師◎ クバーソフ・フォルド(人文学部・留学生) ◎日時◎ 平成25年3月23日(土) 10:30~12:00

お願い

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学費援助事業 ◎学生の修学環境整備事業
◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
◎地域貢献支援事業 ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

三重大学振興基金事務局
【企画総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: http://www.mie-u.ac.jp/foundation/

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしております。
次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
2.メールの本文には、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県
koho@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

三重大学 企画総務部総務チーム 広報室
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789/FAX 059-231-9000
ホームページ http://www.mie-u.ac.jp/
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp
*ご意見をどうぞお寄せください。

えっくす特別号2012 平成24年10月15日発行
●発行/三重大学広報委員会
●編集/三重大学広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

第2回三重大学胸部心臓血管外科市民公開講座
◎日時◎ 平成24年11月25日(日) 13:00~15:00 ◎会場◎ 三重大学医学部第3講義室
◎受講料◎ 無料 ◎受講対象者◎ 市民一般
◎問い合わせ先◎ 医学部胸部心臓血管外科/☎059-231-5021(宮崎)

附属病院市民公開講座
◎申込み・問い合わせ先◎ 三重大学医学部附属病院がんセンター/☎059-231-5055

市民公開講座in志摩 安心できるがん医療
◎日時◎ 平成24年12月22日(土) 10:30~15:30 ◎会場◎ 阿児アリーナ
◎受講料・定員◎ 無料・510名(事前申込) ◎受講対象者◎ 市民一般
◎申込期間◎ 平成24年10月29日(月)~11月30日(金)

第6回市民公開講座 緩和ケアについて(仮)
◎日時◎ 平成25年3月2日(土) 13:00~16:00(予定) ◎会場◎ 三重県総合文化センター 中ホール
◎受講料・定員◎ 無料・950名(事前申込) ◎受講対象者◎ 市民一般
◎申込期間◎ 平成25年1月15日(火)~2月15日(金)

催し物
第64回 三重大学祭
みえりょく
テーマ/三重力
11月23日[金・祝] 24日[土]
三重大学の学祭は地域の方々も含めたお祭りです!
物産展と子ども企画は例年より力を入れました!是非ご参加ください!
OVER ARM THROW!!!
GOOD 4 NOTHING!!!
三重大学大学祭実行委員会のtwitterもあるよ!みんなもフォローしてみてね!

三重大学「美し国おこし・三重さきもり塾」公開シンポジウム
災害に備えたまちづくり・人づくり
三重大で防災を学ぶために~東日本大震災に学ぶ~
◎日時◎ 平成24年11月23日(金・祝) 13:00~17:00
◎会場◎ ホテルグリーンパーク津(伊勢・安濃の間)
◎受講料・定員◎ 無料・250名 ◎受講対象者◎ 市民一般
◎申込み・問い合わせ先◎ 三重大学「美し国おこし・三重さきもり塾」事務局/☎059-231-9861・FAX 059-231-9862
E-mail : sakimori@dimo.mie-u.ac.jp URL http://www.sakimori.eng.mie-u.ac.jp

三重大学をテレビ番組だよ!
三重大テレビ放送
第2チャンネル(072)
毎月第4火曜日 ①12:00~12:29 ②17:00~17:29(再)
毎月第4水曜日 ③7:00~7:29(再)

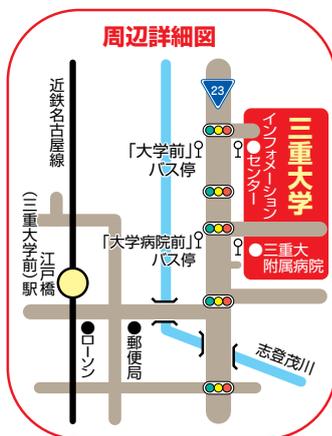
三重大学附属図書館 新図書館

耐震性能の強化に加えて、閲覧エリアの拡大や
 閲覧席の増設、環境・情報科学館との連結が行われます。
 これにより、学習・教育支援機能のさらなる充実を目指しています。

三重大学附属図書館長 滝 和郎



2013年4月リニューアル・オープン



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(おくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアーポートラインで津なぎさまちへ40分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

 **三重大学**

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
 TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>

